

Cal Poly Alumni Association & 2022 Pre seminar

Calpoly-ABC 協会協賛

2022 Cal Poly Conference and pre seminar

日時：2022年4月20日（水）-21日（木）

▼参加登録はこちらから

<https://forms.gle/Xjuf6YrBYGTBRCJP6>



◆参加 URL

<https://us02web.zoom.us/j/84848266952?pwd=by9vbEtESnZjSzE1WDN6dXZabTM4QT09>

ミーティング ID: 848 4826 6952

パスコード : 179589

◆Day1

2022年4月20日（水）09:45～

Day1

9:45	入室開始
10:00	セミナー開始
10:00-10:10	Cal Poly 主催者挨拶 カリフォルニア州立工科大学 Dr. Erik Rolland Dean 学部長 ※2022Cal poly 参加者は、必須でご参加ください。
10:20-11:00	Cal Poly2022 暫定参加者自己紹介
11:00-12:00	Dr.Isshiki Cal Poly seminar 紹介 ※2022Cal poly 参加者は、必須でご参加ください。
12:00-12:45	昼休憩
12:45-13:00	2019年長期セミナー団長ご挨拶 NTTDST 渡丈弘
13:00-13:30	Dr.Erkan Ozkaya、(NASA-CPP Director) ※自社 product が US 世界市場向けの方は必須でご参加ください。
13:30-14:00	小宮吉継社長 (LogoVista with Nasa-CPP)
14:00-14:40	杉浦健二弁護士
15:00-15:45	岩田 好廣 (ABC 協会)
15:50-16:30	Oozora Ogino (荻野天翔) ※2022Cal poly セミナー（長期コース）参加者は、必須でご参加ください。
16:30-17:30	一色 Moderator ; 講演者と参加者と 討論、質問、その他

◆Day2

2022年4月21日(木) 09:45~

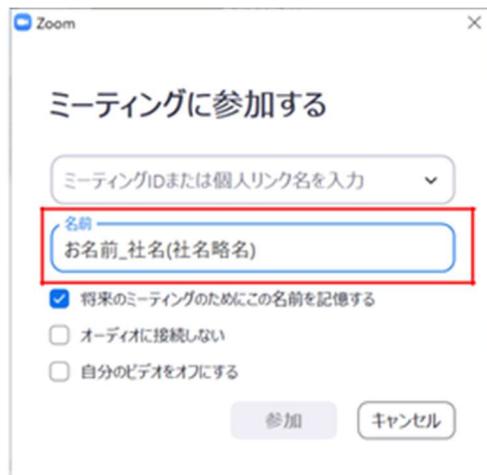
Day2

9:45	入室開始
10:00	セミナー開始
10:00-10:10	短期セミナー2019 柴崎直孝団長 NTTDST 挨拶
10:10-10:45	Jeff Standard (Drive mode)
10:45-11:25	Yuta Endo (foghorn)
11:25-12:00	Takeshi Oishi (Google)
12:00-12:45	昼休憩
12:45-13:00	Conference Introduction and speakers
13:05-13:40	Jimmy Oonishi (Microsoft 本部長)
13:40-14:20	細川泰秀 (ABC 協会会長)
14:20-15:00	牧壮 CalPolyJapan 代表 (元旭化成システム社長)
15:00-15:50	Dr. koichiro Isshiki カリフォルニア州立工科大学
15:50-16:20	水谷重文 (SAP)
16:20-17:00	山田大介社長 ビースラッシュ株式会社 (元リコー社)
17:00-17:30	一色 Moderator ; 講演者と参加者と 討論、質問、その他

◆Zoom 入室の際のお願い

お名前と社名(または社名の略名)を記入の上ご参加いただけますようお願いいたします。

A.ミーティング ID から参加する場合



B.UR

入室後の操作となります。

画面下部の「参加者」ボタンをクリック



ご自分のお名前の上でクリックすると出てくる「詳細」メニューから「名前の変更」を選択





カリフォルニア州立工科大学
学部長 Erik Rolland 博



Dr. Erik Rolland, Dean, College of Business Administration

CalPoly 大学のミッションは、実学教育・応用研究・産業パートナーシップを通して、ビジネス分野における IT 活用についてのフォーカスすべきポイントとリーダーシップ層の役割を提言することです。新しく設立したデジタルエンタープライズセンターでは、AI やブロックチェーン、デジタルデザイン、デジタルマーケティングなどの研究をしています。データサイエンス研究センターでは AWS や Azure などのクラウドサービスを活用して、イノベティブなビッグデータ分析に取り組んでいます。

また Mitchell C. Hill Center(MCHABIT)では、ビジネス分野における IT 活用についての学術研究を実施しています。これらの研究所における研究成果を元に、皆様のビジネスにどうすれば最新テクノロジーを応用できるかをお伝えします。



カリフォルニア州立工科大学
情報工学部教授
一色 浩一郎



この事前研修では、CalPoly seminar の紹介説明をします。

セミナーの目的の一つは 皆さんに、Global, innovative, deign, 提案できる人材になっていただく。言われたことだけは、できる人材ではなく、世界のどこでも、仕事ができる人材になることです。その為には、今は VUCA 時代（Volatility 変動制、Uncertainty 不確実性、Complexity 複雑性、Ambiguity 曖昧性）で何を習い知っておくべきか？ 皆さんには **New Innovative Busines Analysts , IntraPrenneurs and Entrepreneurs for Future Business creators !**



カリフォルニア州立工科大学
NASA-
CalPolyPomona

I
BusinessStartup
Directo
Dr. ErkanOzukaya



Erkan 博士はベンチャー企業を設立しその技術を商品化して発展させる、マーケット戦略の専門家です。彼は NASA-CalPoly Pomona Business Startup Program(nasacpp.org)の設立ディレクターです。このプログラムは NASA の技術に基づく新商品の開発と、その技術を商業化するための新たなベンチャー企業の設立に焦点を当てています。このプログラムにおける NASA アームストロング航空研究所とのコラボレーションは、アメリカ連邦研究所コンソーシアムの優秀パートナーシップ賞を受賞しました。この活動についてご講演いただきます。



LOGOVISTA

ロゴヴィスタ株式会社
代表取締役社長
小宮善継

私は一昨年 CalPoly の一か月間の短期研修に参加させていただきました。

我々は、我々の新技術を世界に普及させるためにまず米国で実績を作ることを考えました。

CalPoly の Ozkaya 先生たちの協力をいただき市場調査やターゲットに対するオファーレターの作成などご協力をいただきましたが、コロナ禍で中断したため、現在は日本国内のニッチマーケットを対象に事業展開を開始したところです。我々は必ず「初志貫徹」します。



IT/AI, SNS, SaaS など法律全般
杉浦 健二弁護士

杉浦弁護士さんは CalPoly seminar で、日本からわざわざ来ていただき講演をしてもらっています IT/AI では、日本で AI 開発に、法律的に有利であることをおはなしていただきました。IT/AI だけでなく、個人情報、著作権、資金決済法など。顧問企業はプラットフォームビジネス、SNS, SaaS, データ、Fintech, コンテンツビジネス、エンターテインメントなど多岐に渡っています。スキルトランスファーを主な仕事内容としています。皆さんの質問をお待ちしております。



一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会
(ABC 協会) 常務
岩田 好廣

「自分の10年後の目標を持っていますか」会社の目標を考えるが、意外と自分の目標を持っていない人が多い。ファアキャスト思考で「出来ない事を先に考える」先の目標に向けてバックキャスト思考で考える事が重要です。

10月に開催する CALPOLY 短期研修のカリキュラムと目的をお話いたします。



**昨年 Toyota Woven Plant Holdings;
AI BigData 担当
現在 EBILAB (株)機会学習 DX 開発
荻野天翔(おぎの おおぞら)
CalPoly 長期セミナー、advisor**

CalPoly 長期セミナーで必要な、皆さんのプロジェクト tools; Github, Netlify などモダンツール紹介サポートします。
昨年は Toyota の自動運転部門である Woven Planet Holdings にて AI と Big data 処理を担当。現在はフリーランスエンジニアとして EBILAB 株式会社にて Microsoft Azure と機械学習を用いた DX ソリューションの開発を担当。
一色先生と共にセミナーを通して日本の IT 業界を世界むけ発展させていくお手伝いをさせて頂いております。

17:30 まで ; 一色 Moderator ; 講演者と参加者と 討論、質問、その他



**Silicon Valley Startup Venture
Level B
Drivemode Co-founder
Jeff Standard**

元 CalPoly 大学講師。バンクオブアメリカに就職企業。独立して、複数のベンチャーを起業。現在は運転中でも画面を見ずに声で操作できるスマートフォン用カーナビアプリ DRIVEMODE を開発する DRIVEMODE 社の共同設立者兼副代表。CalPolyseminar では、長年、SE 向け長期セミナーで、たくさんの VENTURE 企業の経験（特に SE 向け失敗経験は参加者からの一番の人気）。シリコンバレーでは、本田研究所の下で開発中。皆さんのご質問に面白く経験談を含めて話してくれます。皆さんの質問を待っています。



**FogHorn company
Cofounder/Director
Yuta Endo
Silicon Valley Startup Venture Level C**

シリコンバレーの IT 環境はクラウド(雲)コンピューティングからフォグ(霧)コンピューティングに進化しています。エッジコンピューティングは多くの産業にとってより重要な要素になります。フォグコンピューティングを牽引する Foghorn 社の共同設立者である遠藤氏から、フォグコンピューティングの最先端を伺います。



**Silicon Valley Google
Technical Project
Manager
Takeshi Oishi**

大石さんには CalPolySE 向け長期セミナーと Google 会社訪問や executive 向け短期セミナーもお世話になっています。CISCO 勤務を経て、Google にネットワークエンジニアとして転職。現在はテクニカルプログラムマネージャーとして、プロダクションバックボーンネットワークのいろいろなプロジェクト管理をされています。お話は Google の現在開発している多岐にわたるプロダクト紹介。皆さんの質問に応じて、Google 内の実際のお話を気楽に、紹介してくれます。是非、いろいろな質問をしてください。皆さんの質問を待っています。



マイクロソフト
本部長
大西 正之

大西本部長さんは、CISCO 社の時から CalPolyseminar で長期セミナー短期セミナー企業訪問など、大変お世話になっております。現在は米国 Microsoft でグローバルに活動中。世界各国で活躍されています。いろいろなトピックで、お話をいただいておりますが、この度は、日本で注目されている DX の仕方について、実践と経験をお話しいただけます。皆様のご質問に面白く経験談を含めて話してくれます。皆さんの質問を待っています。



一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会
(ABC 協会) 副会長細川泰秀

日本隆盛論～輝く日本の未来を築くために～ IMD の報告によると 1990 年代には国際競争力が世界 1 位になったこともあるのに、今や日本の競争力は世界の 34 位(2020 年)まで低下した。GDP は 25 年間殆ど変わっていない低成長の日本国になり GDP の 2 倍を超す赤字国債を抱える国になった。さらに日本は経営環境が激変する状況に追い込まれているのに、日本の政治家、経営者の大半は危機意識が乏しい。この対策を、実態を正しく認知し、日本隆盛論として表したが、輝く未来を迎えるために Disruption (破壊的創造) の観点から考えたい



デジタル大臣賞受賞
2021 年デジタル社会推進賞



牧アイティ研究所代表
旭化成情報システム株式会社社長
CalPoly Japan 代表

「高齢化社会と情報化社会の融合」及び「小規模事業者の ICT 活用」の支援。
2021 年デジタル社会推進賞・デジタル大臣賞受賞
「誰一人取り残されないデジタル社会」作りを推進中。



カリフォルニア州立工科大学
情報工学部教授
一色 浩一郎

日本の外から見ている わたくしも自分の心配していることを申し上げます。皆さんは明日から何を実行したらいいか？の参考にしてもらえればと思います。VUCA の時代から 6 D への時代へと変更しているなかでも；

1. 現在していることを継続することで、いいと思っている人
2. DX をしたいと実行しているが何を実際にしたらいいかわからない人
3. 何をしたら、いいのか？
 - 3.1 現在していることから、その反対、destruction を実行する
 - 3.2 SDGs は 新しい提案の destruction には重要な要素
4. これを CalPoly の理論と実践でやってみること

-4.1 uber 社はカリフォルニア州立大学の生徒であった Travis Kalamick が創設、イタリア育ちの Dr. Luca Gualco が世界に浸透させた

5. DX は Sweden の Erik Stolterman 博士が 2004 年提案されたもの。“IT の浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる”と提案。当大学の学部長 Erik Rolland 博士も Sweden からの知り合い DX を浸透させましょう！



SAP JAPAN
水谷 重文

SAP JAPAN で IT コンサルタントとして働いている水谷重文です。

SAP ジャパンに就職する前はインターンで AI 関連のソフトウェア開発を行っていました。大学は California State Polytechnic University Pomona の経営工学を卒業し、在学中には一色教授のアシスタントとしてセミナーのお手伝い等をさせて頂きました。現在、SAP では UX とクラウド関連の仕事をメインで担当しており、お客様やパートナー様へのスキルトランスファーを主な仕事内容としています。



ビースラッシュ株式会社
(元リコー)
代表取締役
山田大介

代表取締役
山田 大介
Daisuke Yamada

株式会社リコーにて 23 株式会社年間勤務。複写機やデジタルカメラの開発に従事。ソフトウェアのモデル化、部品化再利用／プロダクトライン工学を専門とする。1995 年より 10 年間 Calpoly 夏季研修のリコー側事務局を務める。2002 年よりドイツ Fraunhofer IESE との共同研究の日本側プロジェクトリーダー。2006 年にビースラッシュ株式会社を設立。ソフトウェア開発現場へのセミナー／コンサルティング事業を展開。パナソニック株式会社とアーキテクト育成セミナーを共同開発。アーキテクトが使う「設計意図発掘ツール AtScope」を開発販売。

17:30 まで ; 一色 Modaretor ; 講演者と参加者と 討論、質問、その他